



持続可能な社会への貢献

■磁器クリーニング炉変更による電力削減

真田の郷では、リード線付き抵抗器を製造しています。製造する過程で、抵抗器の主な構成部品となる磁器をベルトコンベア方式のクリーニング炉を通して製造していましたが、24時間365日電力を消費する設備でした。このクリーニング炉を、生産量に応じた電源入り切りが可能な置き型恒温槽に更新しました。その結果、当該設備電力量が更新前:約4870KWh/月に対し、更新後:530KWh/月となり、約90%削減することができました。

(※クリーニング炉、恒温槽:磁器を高温で熱し、不純物・異物を焼き切る役割を持つ設備)



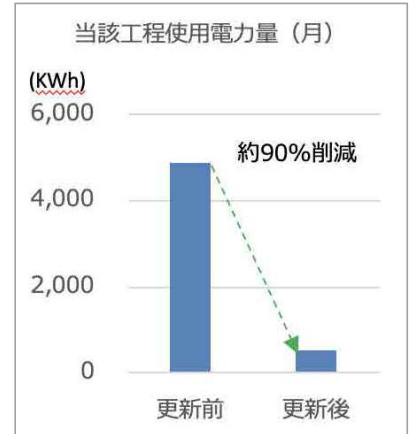
リード線付き抵抗器



更新前クリーニング炉



更新後恒温槽



地域社会への貢献

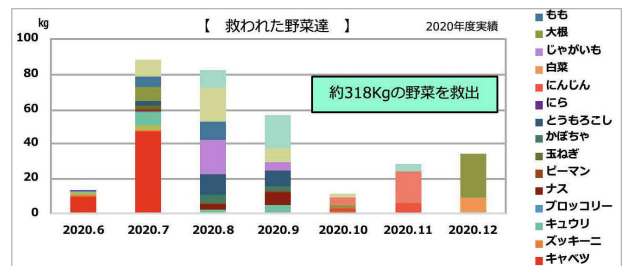
■おせんしょ作戦 もったいない野菜を救え

真田の郷では、自宅で野菜を作っている従業員がおり、作っている中で食べきれない野菜達は廃棄されていました。一方で、野菜を作っていない従業員はスーパーなどで購入をしておりました。そこで、捨てられてしまう野菜を救おうと府中事業所・真田の郷でそれらの野菜を社内の「道の駅コーナー」で低価格で販売し、フードロス活動を実施いたしました。

キュウリやキャベツ、トマトに玉ねぎなど廃棄されてしまう沢山の野菜を救うことができ、SDGsに繋がる活動を実施しております。今年度も開催しており、好評をいただいております。



道の駅コーナーの様子



中長期的な環境改善活動の紹介

■用水路の清掃

府中事業所北側には、農業用水路が流れております。しかしながら、長年の放置によって、草木、泥、ごみが大量に溜まっている状態であり水の流れに支障をきたしておりました。用水路の草木、泥の除去を進めていく中で、アメリカザリガニのほか日本ザリガニ(在来種)、ドジョウも確認でき、貴重な命の営みを身近に確認する事もできました。保護した小さな命は近隣のビオトープに引越しました。

清掃をした事で、水の流れが改善され、灌漑期には近隣地域への農業用水の配給が滞りなくされるようになりました。

今後、新たな生態系が用水路に住み着いてくれることを切に祈り、憩いの場所へととなっていく様に、府中事業所の取り組みとして、維持管理をしています。



< Before 草木・泥が堆積している >



< After 堆積物を除去 >